

令和2年度（2020年度）学校評価書

北海道霧多布高等学校

令和2年度 めざす学校像

- 1 わかる喜びを味わう授業を実践し、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。
- 2 心身の健康と自らを律する姿勢を大切に、他者と協働できる人間性豊かな生徒を育てる。
- 3 生徒のやる気と可能性を引き出し、自己実現に粘り強く取り組む生徒を育てる。
- 4 地域との密接な連携のもと、町民に信頼され、地域に貢献する生徒を育てる。

A：そう思う B：おおむねそう思う C：不十分である D：改善を要する

領域	対象	No	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点	評価			改善・充実の方策	学校関係者評価
					保護者	教職員	学校(※)		
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができたか。	B	B	C	○T Tや習熟度別学習、学習支援員による支援を継続的に実施し、生徒の実態に即した学習指導に成果がみられた。 今後は、各種学力調査（校外模試・検定・学習状況等調査）などの客観的評価に基づいた学習指導の課題を整理し、指導内容の充実にも努めるとともに、家庭学習の定着化の推進を図る。	B
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができたか。	B	C			
	生徒指導	3	生徒会活動の自主的な運営推進	生徒会執行部及び各委員会が積極的に、日常の学校生活に課題意識をもち、その改善に向けた取組を推進する支援を行えたか。	B	B	B	○コロナ禍においても、生徒会執行部を中心として柔軟に校内外活動を維持することができた。 今後は、特に新入生に対する生徒心得などの早期定着を図るとともに、学校のきまり及び内規に基づいたより良い学校生活を目指す取組への支援に努める。	B
		4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できたか。					
	進路指導	5	キャリア教育の体系化	生徒個々の可能性を引き出し、進路実現に向けた継続的な取組により指導できたか。	B	B	B	○キャリア教育活動をポートフォリオに記録することで、生徒個々の特性、希望に応じた適切な進路指導が推進された。また、学校ホームページや霧高だよりをとおして生徒や保護者に対する情報発信を継続できた。 今後は、蓄積された進路活動データの分析と利活用の方策に関する検討を進め、本校生徒の進路活動の幅を一層充実させる。	B
		6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができたか。	B	B			
学校関係者意見等		○個性を生かした指導がなされていることと思います。地域に素晴らしい高校があることを理解して、入学者が増えることを祈っています。 ○生徒たちが抱える課題、問題について、生徒会が中心となって教員の指導の下取り組んでいることが確認できた。また、登下校する生徒を見かけるが、服装身だしなみもしっかりしているし、来校した時に、生徒から先に挨拶してくれるなど大変まじめな生徒たちであると感じた。							
学校運営	開かれた学校づくり	7	新教育課程の検討	新学習指導要領に対応する教育課程編成に向け、情報収集及び検討会等を適切に行うことができたか。	B	B	B	○新学習指導要領に基づく教育課程の素案を編成することができた。今後は、この素案を基に、本校生徒の進路の多様性に対応するために、一層の情報収集に努め、新教育課程の運用に向けた準備を推進する。また、コロナ禍により町内小中学校との連携は停滞したが、「浜中学」を軸として、幅広い教科・科目における連携を模索していく。	B
		8	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できたか。					
	組織・運営	9	学校評価の改善	学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を年度内に実行できたか。	B	B	B	○業務量削減に向け、出退勤システムを導入して業務量の客観的把握を進め、教職員各自の業務改善に向けた意識を喚起することができた。また、町内教育機関と足並みをそろえて留守番電話の導入を図ることができた。 今後は、ミドルリーダーを核として、分掌業務とその運営方法について従前の在り方にとらわれない視点での検討を進め、教職員の「働き方改革」の実効性を高めるよう努めていく。	B
		10	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて再確認し、「働き方改革」を見据え、円滑で効果的な運営に向け改善できたか。	B	B			
	教員の資質向上	11	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩み体制づくりを推進できたか。			B	B	B
		12	校外研修の共有	不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができたか。	B	B			
学校関係者意見等		○新型コロナウイルスの関係で令和2年度の学校運営は非常に難しかったと思われるが、その中で生徒たちのことを一番考え、学校運営を行っていることを確認できた。 ○コロナ禍で、変則的な対応となり、教職員、生徒ともストレスが大きい状況が続いています。このことを糧として、将来に希望を有する指導をお願いしたい。早く日常生活が戻ることを祈っています。 ○なかなか終息しないコロナ禍の中、教職員の皆さんは思うように指導できない場面もあるでしょう。大変でしょうが今後ともご尽力下さることを願います。							

※評価欄（保護者・教職員）は、アンケート結果により評価しています。

令和2年度学校評価に係る保護者アンケート

北海道霧多布高等学校

1 教育活動について

(A: そう思う B: おおむねそう思う C: 不十分である D: 改善を要する)

令和2年12月7日

No	質問事項	数値	全校保護者					1 学年保護者					2 学年保護者					3 学年保護者				
			A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計	A	B	C	D	合計
1	霧多布高校は、生徒にとって質の高い授業を行い、学力の向上を図っている。	数	15	47	8	0	70	6	15	5	0	26	4	9	1	0	14	5	23	2	0	30
		%	21.4	67.1	11.4	0.0	100	23.1	57.7	19.2	0.0	100	28.6	64.3	7.1	0.0	100	16.7	76.7	6.7	0.0	100
2	霧多布高校は、放課後学習や家庭における学習課題など、授業をサポートする取り組みを実施している。	数	32	34	3	0	69	13	11	1	0	25	5	7	2	0	14	14	16	0	0	30
		%	46.4	49.3	4.3	0.0	100	52.0	44.0	4.0	0.0	100	35.7	50.0	14.3	0.0	100	46.7	53.3	0.0	0.0	100
3	霧多布高校は、規律を重んじる意識・態度を身につけ、生徒の自己指導力を育成している。	数	21	44	5	0	70	5	18	3	0	26	5	9	0	0	14	11	17	2	0	30
		%	30.0	62.9	7.1	0.0	100	19.2	69.2	11.5	0.0	100	35.7	64.3	0.0	0.0	100	36.7	56.7	6.7	0.0	100
4	霧多布高校は、いじめのない安全安心な学校環境を整え、るとともに、教育相談やカウンセリングを充実させている。	数	22	43	3	1	69	8	14	2	1	25	4	10	0	0	14	10	19	1	0	30
		%	31.9	62.3	4.3	1.4	100	32.0	56.0	8.0	4.0	100	28.6	71.4	0.0	0.0	100	33.3	63.3	3.3	0.0	100
5	霧多布高校は、生徒及び保護者と連携して、3年間を見通した継続的で適切な進路指導を行っている。	数	21	46	3	1	71	5	19	1	1	26	5	7	2	0	14	11	20	0	0	31
		%	29.6	64.8	4.2	1.4	100	19.2	73.1	3.8	3.8	100	35.7	50.0	14.3	0.0	100	35.5	64.5	0.0	0.0	100
6	霧多布高校は、ホームページ、学校だより、学級通信等を活用して、学校の教育活動や進路等の情報を積極的に発信している。	数	22	44	5	0	71	5	19	2	0	26	7	6	1	0	14	10	19	2	0	31
		%	31.0	62.0	7.0	0.0	100	19.2	73.1	7.7	0.0	100	50.0	42.9	7.1	0.0	100	32.3	61.3	6.5	0.0	100
7	霧多布高校は、部活動を活性化し、活発な活動を行っている。	数	27	41	2	1	71	11	14	1	0	26	6	8	0	0	14	10	19	1	1	31
		%	38.0	57.7	2.8	1.4	100	42.3	53.8	3.8	0.0	100	42.9	57.1	0.0	0.0	100	32.3	61.3	3.2	3.2	100
8	霧多布高校は、生徒や保護者・地域の期待や要望に応えている。	数	21	43	5	1	70	8	14	2	1	25	6	8	0	0	14	7	21	3	0	31
		%	30.0	61.4	7.1	1.4	100	32.0	56.0	8.0	4.0	100	42.9	57.1	0.0	0.0	100	22.6	67.7	9.7	0.0	100
9	霧多布高校は、学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を実行している。	数	19	44	5	0	68	6	15	3	0	24	5	9	0	0	14	8	20	2	0	30
		%	27.9	64.7	7.4	0.0	100	25.0	62.5	12.5	0.0	100	35.7	64.3	0.0	0.0	100	26.7	66.7	6.7	0.0	100

●霧多布高校への意見・要望

学力向上と、将来社会人になっても困らないような人材づくりを行ってほしいと思います。

令和2年度学校評価に係る教職員アンケート集計表

北海道霧多布高等学校

次のA～D(A:そう思う B:おおむねそう思う C:不十分である D:改善を要する)のいずれかを○で囲んで下さい。

令和2年12月4日

領域	対象	No	今年度の重点目標	質問項目	数値	A	B	C	D	全体
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができたか。	数	6	9	0	0	15
					%	40.0	60.0	0.0	0.0	100
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができたか。	数	3	5	7	0	15
					%	20.0	33.3	46.7	0.0	100.0
	生徒指導	3	生徒会活動の積極的な運営への支援	生徒会執行部及び各委員会が積極的に、日常の学校生活に課題意識をもち、その改善に向けた取組を推進する支援を行えたか。	数	4	10	1	0	15
					%	26.7	66.7	6.7	0.0	100
		4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できたか。	数	4	9	1	1	15
					%	26.7	60.0	6.7	6.7	100
	進路指導	5	個別支援制度の充実	生徒個々の可能性を引き出し、進路実現に向けた継続的な取組により指導できたか。	数	3	9	3	0	15
					%	20.0	60.0	20.0	0.0	100
	6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができたか。	数	1	11	2	1	15	
				%	6.7	73.3	13.3	6.7	100	
学校運営	開かれた学校づくり	7	新教育課程の検討	新学習指導要領に対応する教育課程編成に向け、情報収集及び検討会等を適切に行うことができたか。	数	6	6	3	0	15
					%	40.0	40.0	20.0	0.0	100
	8	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できたか。	数	2	4	8	1	15	
				%	13.3	26.7	53.3	6.7	100	
	組織・運営	9	学校評価の充実	学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を年度内に実行できたか。	数	2	7	5	1	15
					%	13.3	46.7	33.3	6.7	100
	10	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて再確認し、「働き方改革」を見据え、円滑で効果的な運営に向け改善できたか。	数	1	7	6	1	15	
				%	6.7	46.7	40.0	6.7	100	
教員の資質向上	11	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩む体制づくりを推進できたか。	数	2	11	1	1	15	
				%	13.3	73.3	6.7	6.7	100	
12	校外研修の共有	不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができたか。	数	4	10	1	0	15		
			%	26.7	66.7	6.7	0.0	100		